

臨床心理士講師に 自己表現など学ぶ 金沢、第一学院高生徒

コミュニケーションについて学ぶ講座が、金沢市堀川新町の広域通信制「第一学院高校」金沢キャンパスであり、生徒八人がグループワークを通じて自己表現や相互理解の練習をした。

講座は、不登校などの経験がある生徒が多いことから開かれ、スクールカウンセラーで臨床心理士の黒川萌子さん(三毛)が講師を務めた。黒川さんは、思春期にはさまざまな感情が入り乱れ、心がいっぱいになりやすいため「自分の気持ちを表す言葉の数を増やして」などと呼び掛けた。

グループワークは、勇気を出して思いを伝えることで互いの共通点や違いを探り、理解し合つきっかけにしてもらうのが狙いで、生



徒は「夏」から連想した言葉を順に披露。「カプトムシ」を挙げた生徒は、兄と虫捕りした思い出を話し、他の参加者も「へえ」と興味深そうに聞いていた。

一年の渡辺耕太さん(二毛)は「テーマを決めて話すと会話が弾むし、共通点が見つかるとうれしい。相づちの仕方を学んだので頑張ってみたい」と話した。

(高橋雪花)

グループワークで会話を弾ませる生徒ら―金沢市堀川新町の第一学院高金沢キャンパスで